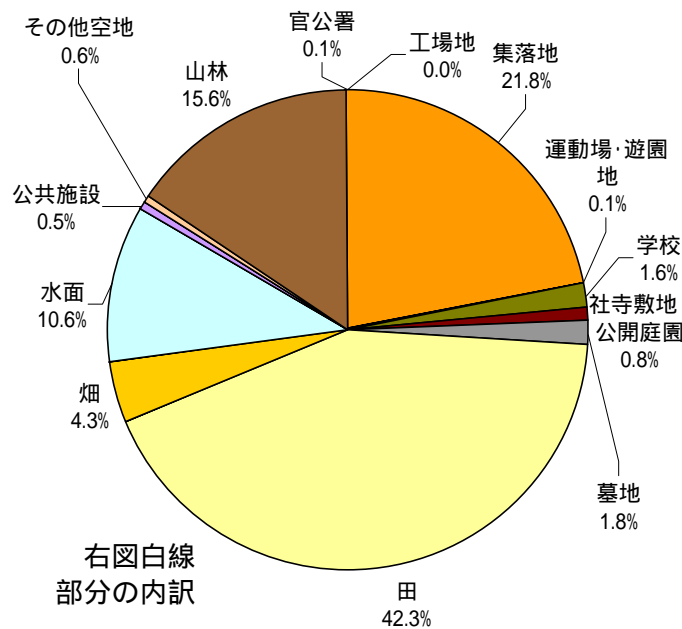


止々呂美地区（上止々呂美、下止々呂美の一部）

地区の概要

項目	概要
対象地区の概況	(位置・面積) ・市北部、池田市北部と豊能町に接し、地区中央部を余野川が流れる ・区域面積は約 82ha (右図白線部分) (平成 17 年度人口・世帯 町丁目ベースで集計、対象地区人口と一致しない) ・580 人、138 世帯 ・0-14 歳 7.8%、65 歳以上 47.4%、高齢化が進む
上位計画での位置づけ	(第 4 次総計) ・北部地域の将来像として生活基盤の整備による利便性の高いまち、第二名神・国道 423 号バイパス開通に対応した土地利用の検討と地域整備の推進など (都市 MP) ・止々呂美集落地区は市街化区域編入予定地区として位置づけ (みどりの基本計画) ・山間部のみどりの保全、水と緑の健康都市は北部地域の重点緑化地区 (都市景観基本計画) ・昔からの集落地区 / 農地・ため池の残る地区として、水と緑の景観や落ち着いたまちなみの保全等を位置づけ、特に伝統的な山里景観の保全と継承が課題
地形	・余野川に沿った狭い谷間に集落が点在、わずかの平地と緩い傾斜地が農地として利用されている ・周囲の山々は傾斜がきつく、各所が急傾斜地崩壊危険箇所、土石流氾濫想定区域となっている
なりたち	・奈良、平安にさかのぼる古い歴史を持つ ・木炭やビワ、カキ、ウメなどの出荷が盛んで、商品生産で生計が立てられていた ・道路交通の面からも、池田とのつながりが強い
自然	・急傾斜の山林には里山的植生が残るが、担い手不足により管理が行き届きにくくなっている ・多数の保護樹木・保護樹林が指定されている
農業	・大半の田が余野川の水を使用しており、1つの水利組合が所管 ・傾斜地の棚田などで不耕作地が増えている ・朝市を開催し地場の農産物を販売している ・「愛農郷(あいのさと)」という農業 NPO があり、農業塾を主宰し営農支援を行っている
景観	・農地と山なみに囲まれ、中央を余野川が流れる山里景観が形成されている ・石や板、土、瓦などの自然素材による集落の建築物や外構が分布
土地利用	・田 (34.5ha/42.3%)、集落地 (17.8ha/21.8%)、山林 (12.7ha/15.6%) ・対象地区内は田、集落地、山林で占められる ・地区周辺はほとんどが山林、畑地ではびわ、くり、柚子などの特産品を栽培
開発動向	(地区内) ・大きな開発はないが、今後は有料道路の開通、箕面森町のまちびらきに伴い、沿道サービス施設などが立地する可能性がある (地区外) ・箕面森町の宅地開発が進行中
基盤整備の状況	・箕面森町の整備が進行中、H19 年 10 月より国道 423 号バイパスと止々呂美東西線が供用された ・御堂筋線(箕面有料道路)が開通、大阪方面と直結し利便性が向上 ・国道 423 号は一般の車に加えて、周辺の採石場の土砂を積んだトラックなどが行き来する ・新名神高速道路のインターチェンジの整備も予定されており、平成 30 年に供用開始が予定されているため、今後 10 年で大きく土地利用が変化する可能性がある
地区まちづくりの経緯	・平成 14 年 7 月に、止々呂美地域まちづくり協議会 / 余野川周辺整備等検討部会において、道の駅を核とした地域振興策基本構想をまとめる ・平成 15 年 2 月にまちづくり基本構想を策定、積極的な開発型ではなく、既存の地域の姿を活かしたまちづくりを目指す

(土地利用現況-H18 年度)



注：都市計画基礎調査のデータによるが、実際の土地利用の現状とはずれがある

